

地域共生社会に向け最前線の課題と対応策を共に考えるチャンス!



いきがい・助け合い サミット in 神奈川

会場参加と
ライブ配信により
開催します

2021年9月に神奈川県横浜市で開催!



パシフィコ横浜

「地域共生社会」に向けて「地域包括ケア」や「新地域支援事業」はどうあるべきかなど幅広いテーマについて、大阪での議論をさらに深めます。

生活支援コーディネーター、協議体構成員、行政、社会福祉協議会、地域包括支援センターなどの関係者の方には実務研修としても最適です。コロナ禍を乗り越えて「地域共生社会」実現に向け、いっしょに前に進みましょう。

主な内容(予定)

- 全体シンポジウム
- 分科会
第1部から第3部まで35分科会を予定(全テーマは裏面に記載)
- ポスターセッション
全国からの事例紹介にご期待ください
- 全体発表会 など

全体シンポジウムテーマ

「幸せな人生と社会に不可欠ないきがいと助け合い」

登壇者▶



東京大学高齢社会総合研究機構
・未来ビジョン研究センター
客員研究員
辻 哲夫氏



東京大学
名誉教授
神野 直彦氏



総合研究大学院大学
学長
長谷川 眞理子氏



津田塾大学
総合政策学部客員教授
村木 厚子氏

進行役▶



公益財団法人
さわやか福祉財団会長
堀田 力

「助け合い大全'19

パネル編・ポスター編」は今後の活動の大切な資料として活用させていただきます。(民生委員)

全国いろいろな市町村と情報交換し、自分の町のことを知ってもらえ、これからも頑張っていける!!と思いました。参加してよかったです。(生活支援コーディネーター)

全国的に課題は一緒なのだという事を強く感じ、その解決策は様々な手法を用いて、苦勞しながらも、住民の方々をつくづくっていくという事の大切さをつくづく感じました。(社会福祉協議会職員)

サミット in 大阪 参加者の声

事前の配布資料が手もとに届いたとき、想像以上の内容だと感じました。しかし、来てみてビックリ、更に内容は想像を超え、本当に勉強になり、遠方からでも来る価値があると思いました。(地域包括支援センター職員)

生活支援体制整備に関して、気づきがたくさんありました。実際に実践していきたいと思っています。(行政職員)

開催：2021年9月1日(水)～2日(木) 会場：パシフィコ横浜

開催形式：会場参加、ライブ配信併用(新型コロナウイルス感染症の状況により全面オンライン配信とする場合があります。)

お申し込み受付開始は5月中旬を予定。(お申し込みには資料代としてお一人2,000円いただきます。関係情報は裏面ご参照)

充実した分科会テーマ、パネリストにご期待ください。



分科会は、今まさに旬のテーマを取り上げ、各分野の有識者や地域で活躍する実践者が多数登壇します！全国の最新事例を知り、幅の広い考え方や経験に基づく事例などに会える貴重な機会です。また、コロナ禍対応事例も種々紹介されます。大阪サミットでの提言（ホップ）を受け神奈川サミットでステップを目指す分科会や新たなテーマの分科会など、テーマは次のとおりです。

第1部パネル

- いきがい・助け合いは人生にどんな効果を生むか
- 我が事・丸ごとや小規模多機能自治などの地域づくり活動と生活支援活動とをどう結び付けるか
- 助け合いは、コロナ禍から何を学んだか
- 市区町村における庁内体制はどうあるべきか
- 2層協議体の構成と役割
- 助け合いのネットワークをつくるにあたり、既存の助け合い活動を生かすにはどうすればよいか
- 地縁の助け合い活動を活性化するには？
- 共生型常設型居場所をどう広げるか
- 有償（謝礼付き）ボランティア活動をどう広げるか
- 自動車による移動支援をどう広げるか
- 助け合い活動に対する行政の後方支援のあり方
- 医療・介護サービスと生活支援の助け合い活動とのネットワークをどうつくるか
- ケアプランに生活支援の助け合い活動及び本人のいきがい活動をどう取り入れるか

第2部パネル

- 個人の住宅を地域に開くには、どうすればよいか
- 自分らしく暮らせる施設の選び方
- 介護におけるエンパワーメントと自立支援のあり方は何か
- 子どもと高齢者の交流や助け合いをどう広げるか
- 認知症の人が地域の人々とともに生きる地域をどうつくるか
- 市民後見人による後見活動と生活支援活動はどう連携するのが望ましいか
- 地域は、地域で孤立しがちな人とどうつながるか
- 企業OBに助け合いによる生活支援活動への参加をうながすにはどうすればよいか
- 勤労者の助け合い活動参加をどううながすか
- 介護離職を防ぐ地域の連携
- 海外では地域の助け合い活動でどれだけ高齢者の生活を支えているか
- 広域連合で新総合事業・体制整備事業を行うのは適切か（I）

第3部パネル

- 広域連合で新総合事業・体制整備事業を行うのは適切か（II）
- 心身機能が低下しても持てる能力を生かして高齢者が社会参加する方法とは
- 都道府県は助け合いによる生活支援活動を広めるために何をすべきか
- 住民から信頼される体制をどうつくるか
- 住民のやらされ感を払しょくするコツと手法は何か
- 目指す地域像の意義と取り組み方
- 老人クラブは総合事業・体制整備事業にどう参画するのか
- 大都市部における新しい地域支援事業の進め方
- 人口が少ない自治体における助け合いによる生活支援に関する課題と対応策は何か
- 在宅での人生の最終章の過ごし方及び看取りのあり方

（現時点での予定です）

開催概要

- 「いきがい・助け合いサミット in 神奈川」は、新型コロナ感染の状況を踏まえ、会場参加とオンラインによるライブ配信を併用して開催します。
- 会場は新型コロナ感染防止のため、消毒、換気、飛沫防止、ソーシャルディスタンスの確保などの対策を講じます。そのため、会場参加の定員は1,500名となります。
- 応募いただいたポスターは、会場での展示、投票に加えて、Web上でも閲覧、投票を可能とします。
- 新型コロナ感染の状況によっては、全てのプログラムをオンラインによるライブ配信に変更することがありますので、あらかじめご了承ください。会場参加を申し込まれた方は、その場合でもオンラインでの視聴が可能となります。
- 開催形式に変更がある場合は、決定次第遅滞なく詳細をご連絡いたします。

開催日 2021年9月1日(水)～2日(木)

会場 パシフィコ横浜（神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1）

定員(予定) 会場参加：1,500名 オンライン視聴：3,500名

申込方法 申込パンフレットやホームページなどでご案内します

申込期間 2021年5月中旬～7月中旬（定員になり次第締め切りとなります）

主な対象 生活支援コーディネーター、協議体構成員、地方自治体、社会福祉協議会、地域包括支援センター等の地域づくり関係者、国、関係機関、NPO・民間団体の関係者等、助け合い、支え合う地域づくりに関係する方

参加費 資料代として2,000円（会場参加、オンライン視聴共に変わりはありません）

後援(2019年の実績) 厚生労働省、全国社会福祉協議会、日本生活協同組合連合会、全国老人クラブ連合会、Jリーグ 等

主催 公益財団法人さわやか福祉財団 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館7F

お問い合わせ 事務局 内田 電話：03-5470-7751

お申し込みの
ご準備を
お願いします。